

第8回臨書展

【中央審査委員会賞】

主催 一般社団法人日本書字文化協会
後援 外務省、青梅市、中国大使館文化部
東京都青梅市日本中国友好協会
中国書法学院、国際芸術家連盟
NPO 法人日中文化交流促進会
中国国立南京芸術学院日本校
蘇州・寒山寺、蘇州呉昌碩研究会

岩手県・盛岡中央高等学校 3年
新谷 三汰

練習で上達する楽しい感覚

この度は中央審査委員会賞という素晴らしい賞をいただきありがとうございます。
ます。

今回は墨の潤滑や文字の大小を極端につけ、王鐸特有の勢いを表現しました。
何度も行に入れる文字の数や余白の部分などを調整し、苦勞して取り組んだ作
品だったので、評価していただいたこと、大変嬉しく思います。

私は幼い頃から字を書くのが好きで、小1で初めてコンクールで入賞しまし
た。そのとき味わった、練習を重ねるごとに上達していく楽しい感覚が10年以
上経った現在も、書道をする際の糧となっています。この受賞も自信に繋げ、一
層意欲的に書道に励んでいきたいと思えます。

最後に、指導して下さった書道教室の先生、顧問の先生、私の作品を選んで
下さった審査員の皆さんに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。
た。